

# GEM+S-1

対象 膵・胆道癌

投与順	抗癌剤名	投与量	手技	投与時間・速度	投与日(d1,d8等)
1	ゲムシタビン	1000mg/m <sup>2</sup>	div	30min	d1,8
2	S-1	コメント欄参照	内服	1日2回 朝・夕食後	d1夕-d15朝

1コース期間	21日
総コース数	PDとなるまで
コース間での休薬の規定	投与当日の白血球数:2000未満又は血小板数が7万未満⇒骨髄抑制が回復するまで投与延期、好中球1000未満(ただし好中球1000をわずかにきっても白血球が2000以上の場合は医師の判断でコース継続を可とする)、血清クレアチニン1.5/dL以上、下痢・口内炎Grade2以上、皮疹Grade3以上
投与量の増量規定	前コースで有害事象が認められないか、認められても安全性に問題がないと判断された場合TS-1を1段階増量することが出来る。ただし、コース内増量は不可とする。
減量規定・中止基準	「白血球数:1000未満、好中球500未満、発熱性好中球減少症を疑う感染、Grade3-4の好中球減少を伴う感染、血小板数が2.5万未満、皮疹Grade3以上、血清クレアチニン1.5/dL以上」の場合は即中止し、回復後次コースより以下の減量基準に従い減量して開始する。 ①GEMの減量(1000mg/m <sup>2</sup> →800mg/m <sup>2</sup> →600mg/m <sup>2</sup> ) ②S-1の減量(60mg/day→50mg/day、80mg/day→60mg/day、100mg/day→80mg/day)
コースによる変化	なし
投与間隔の短縮規定	なし
2コース目以降の投与開始基準	白血球数:2000以上、血小板数7万以上 Grade3以上の血液学的毒性(白血球数・血小板は除く)が発現していないこと。 Grade3以上の悪心・嘔吐が出現していないこと。 Grade2以上に非血液毒性(悪心・嘔吐・皮疹は除く)は発現していないこと。 Grade3以上の皮疹が発現していないこと。
注意すべき副作用	

# GEM+S-1

1コース期間 : 21日

投与所要時間 : 1時間

ルート	Rp	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与速度	day1	day8
主管	1	生食100mL デカドロン6.6mg		div	15min	○	○
	2	5%ブドウ糖100mL ゲムシタビン【     】mg	1000 mg/m <sup>2</sup>	div	30min	○	○
	3	生食50mL		div	15min	○	○
内服	S-1		コメント欄参照	内服 1日2回	day1夕 - day15朝		

## コメント

副作用状況に対応するためGXには  
2投1休、1投1休、のレジメンを作成する。

### 【S-1 投与量】

体表面積	初回基準量(テガフル相当量)
1.25m <sup>2</sup> 未満	40mg/回 (80mg/日)
1.25m <sup>2</sup> 以上~1.5m <sup>2</sup> 未満	50mg/回 (100mg/日)
1.5m <sup>2</sup> 以上	60mg/回 (120mg/日)

Reference: